

北口建設工業株式会社

大阪府寝屋川市

ユニフォームを一新した北口建設工業。現場従業員、事務方共にブルーで統一し、サービス業としても徹する。

北口建設工業の経営理念には「廃棄物処理業は、サービス業である」「汚い物を扱う仕事だからこそ、綺麗にする」という考え方がある。社員一人ひとりに意識してもらうために従来の作業着から、清潔感のあるユニフォームに変更した。2015年6月1日から実施している。社員の意識が変わると同時に、サービス向上に繋がる。



北口建設工業本社



本社事務職員も現場と同じユニフォーム



全車両グリーンナンバー

清潔感のある身だしなみで、作業を行う

従来の作業服は機能性を優先させて作られているが、汚れることを前提にしているため、着ている人も身だしなみを気にすることは少ない。

同社の北口隆広社長は「ユニフォームを新しく、かつ、カッコよくすることで社員一人ひとりの意識が変わるだけでなく、今まで以上に仕事に対して自信と誇りを持ち、モチベーションが上がり、顧客サービスの向上に繋がる」と、ユニフォームを変えた理由を語る。

また、病院や福祉施設、大規模商業施設、飲食店、小売店など、多くの一般の人が来店する事業所に対して、清潔感のあるユニフォームで収集作業に当ることがは来店客にとってもより良いサービスになるものとも考えている。

肩は動きやすい
ラグランタイプを採用

ユニフォームのカラーは上下ともにブルー。ポリエステル80%・綿

20%のしつかりとした生地になっている。肩部分は動きやすいラグランタイプで、サイドはホワイトのメッシュ仕様になっている。この時期には涼しいと従業員からも評判が良い。

両胸には大きめのポケットがあり、ペン差しも。両ポケットのやや下の位置には夜間でも光る小さな反射板が、袖のパイピングとともにワンポイントになっている。パンツもゆったり目で、両サイドにはポケットが付く。

現場従業員には2セットのユニフォームが支給されるが、その後、毎年1回、新しいユニフォームを支給する。

新しいユニフォームの着心地を同社の環境事業部業務課の高田正彦次長は「まず動きやすいですね。パンツもゆったりしていて、かがんだ時にも違和感がない。デザインも色もいいですよ」と気に入っている様子だ。

同じく福尾巧次長も「メッシュになっている部分が今の時期、涼しくていいですね。デザインもよく、なんといっても動きやすい。清潔感のあるブルーも気に入っています」と感想を述べる。

運転周りもブルーが映える



ゆったりとしたユニフォームで動きやすい



福尾次長(左)と高田次長



中央が北口社長

ユニフォームは現場も事務方も同じタイプのもので、現場では基本、支給される会社のネーミング入りの水色のポロシャツをアンダーに着用。事務方はワイシャツ、あるいはブラウスにストラックス、スカートなどで業務に当る。

北口建設工業は、本社のある大阪府寝屋川市を中心に近畿一円を業務エリアとする。これまでに、環境面での収集車全車両のグリーンナンバー化や、コンプライアンスの遵守、ISO14001の認証取得、安全教育と各種資格取得による社員のスキルアップなど、顧客からの信頼を得るための努力を積み重ねている。

Company Profile

北口建設工業株式会社

大阪府寝屋川市新家1-8-7

業務内容は環境事業・総合建設業で、経営理念に「当社はサービス業」という考え方を北口隆広社長は持つ。その一環として2015年にユニフォームを一新した。従業員は70数人。